

## 「エックス線被ばく事故検討WG」関係者事前説明会 概要

1. 開催日時：令和3年7月16日（金） 9:00 – 9:55
2. 開催場所：Zoom を用いたオンライン開催
3. 事務局出席者：飯本武志、古渡意彦、山口一郎
4. 配布資料 なし
5. 議事概要

### 5 – 1. 経緯等説明

- ・飯本委員長より、表題のWG設置の経緯、及び日本保健物理学会におけるWG活動の位置づけやWGにおける日本放射線安全管理学会との連携について説明があった。
- ・飯本委員長より、WGの副委員長として古渡（量研）、幹事として山口（保健医療科学院）が7月14日開催の理事会にて推薦され、決定した旨、紹介があった。
- ・飯本委員長より、WGの活動期間は現時点では明言できないが、当面の活動の成果を令和3年度末頃に中間報告的にまとめる計画であること、また、委員の委嘱期間を令和4年度末までに設定する計画であることが周知された。併せて、活動開始初期のWG会合では、各委員からそれぞれの専門分野の視点で調査した内容の報告をいただく予定であることが周知され、協力の依頼があった。

### 5 – 2. 質疑等

- ・参加者より、委員委嘱の手続きが完了後にWG活動に正式に従事できることから、委嘱手続きを速やかに進めることが望ましい旨、依頼があった。また、任期の設定について相談したいとの意見もあり、必要に応じて個別に調整を進めることになった。
- ・参加者より、追加のWG委員として、放射線防護・保健物理分野の今後を担う若手の貢献を期待する旨の意見があった。
- ・参加者より、WGの議事録は原則公開されるべきとの意見があった。飯本委員長より、WGの議事内容は、コミュニケーション委員会が所掌する学会ホームページを通じて公表することになること、また、学会内外からの問い合わせ等も、当WGとの協力の下に、広報の機能をもつコミュニケーション委員会が担当することが説明された。
- ・WG会合の開催方針につき意見交換をした結果、当面は公開された情報と委員間の意見の共有が続くことから短い時間でのWG会合を繰り返し、節目ごとに議論を深めるための比較的長時間のWG会合を開催することとなった。

以上